

## 小浜温泉街における「通り名」を通じた地域活性化

雲仙市小浜町の小浜温泉の歴史は古く、713年「肥前風土記」に、“高來の峯の西南より、温泉の湧出するのがみゆ”と記されています。現在でも全国の温泉の中で熱量が日本一を誇り、まちにある源泉は温度105度の湯を一日に15,000トンも湧きだしており、これらの観光資源を活かしたまちづくりや地域の活性化が望まれています。

このような状況を踏まえ、道に昔からある名前を命名し、その「通り名」を道に掲示して道案内に活用するための取り組みを実施しました。

これらの取り組みで、地域住民があらためて自分たちのまちのことを話し合ったり歩いてみることで、“地域の観光資源の再発見”や“まちの歴史を掘り起こす”ことで、地域が持つポテンシャルを引き出すとともに、地域のコミュニティの活性化を図りました。



### 「通り名」への取り組み



▲「通り名」の命名や、プレートのデザインにあたっては、地域住民によるワークショップを開催しました。



▲温泉街を歩きながら、まちの歴史や昔の様子、観光スポットの改善点などについて様々な意見が出されました。

### 今後の予定

通り名マップは、新たに作成するのではなく、既存のマップの更新に併せ「通り名」と「位置番号」を入れていくこととしており、今後、小浜で非常に人気の高い、「小浜ちゃんぽんマップ」等に、「通り名」等を明示していく予定。

